

# 「笑顔」で起こすサプライズ



温泉、阿蘇、熊本城、いきなり団子、馬刺し、さまざまな誇るものがある、ふるさと『熊本』。3月12日に開通した九州新幹線に乗って、多くの人が訪れています。そんな今だからこそ、私たち一人ひとりが「熊本」を見つめ直し、良さに気付いてほしいと、熊本を代表する2人に話を聞いてきました。この記事は、県内市町村の広報担当者が合同で企画・制作しました。

## Suzanne



スザンヌ

1986年10月28日 熊本市(旧植木町)生まれ  
「クイズヘキサゴンII」、「サンデーネクスト」などに出演し、  
同じ九州福岡でも「豆ごはん」にレギュラー出演  
2008年11月「熊本県宣伝部長」に就任した

熊本県宣伝部長のスザンヌさんに、「熊本大好き」と公言する極意を語ってもらいました

### 熊

本はたくさん良いところがあり  
ます。その中でも、やっぱり「水」

が一番の熊本の魅力ですね。水がおいしいから、野菜もみずみずしいものができる。水道からミ

熊本の魅力は、やっぱり  
おいしい「水」

ネラルウオーター  
が出るなんて言い  
ますけど、東京では考えられません。  
向こうでは、水道水をそのまま飲むな  
んでできない。熊本を離れて、水が変  
わったことで肌がすごく荒れたんで  
す。「水にお金を出すの？」と不思議

な感覚でしたが、外に出て改めて熊本  
の水は綺麗なんだって思いました。

熊本は自然が豊かで、山も川もあつ  
て、少し行けば海もあります。気軽に

温泉にも行くこと  
ができて、とてもい  
いですよね。

### 熊

本の人にとって当たり前だと  
思っていたことが、他県の人か  
らすると、「熊本はそんなことがある  
んだ」と思われることが多い。例えば、

おもてなしに必要なのは  
「知る」こと。そして「笑顔」

タイピーマン  
太平燕はあんなにおいしいのに熊本に  
しかない。桜納豆を知り合いが食べて  
「馬肉と納豆？」と驚いていたけど、「ス  
タミナがつくね」とご飯をおかわりし  
て食べていました。国産量もほとんど  
が熊本で作られていることを知らない  
人が多いし、みかんだって、1種類し  
かないと思っている人がたくさん。で  
も、熊本には、デコポンや晩白柚だつ  
てある。熊本を出て、宣伝部長になつ  
て格段に、熊本のことを知ることがで  
きたし、詳しくなりました。この「知  
る」ことが一番大事なのかなと思いま  
す。まずそこに行つて、自分の目で確  
かめる。そして、自分で驚いたことや  
感じたことを人に話して「行ってみた  
い」と思わせたいですね。

九州新幹線が開通して、県外の人  
がたくさん熊本に来ると思いますが、笑  
顔を迎えてほしいですね。私はどん  
なときでも笑顔を忘れないようにして  
います。落ち込んでいても、笑ってい  
たら楽しくなるでしょ。ムスツとして  
いる人より、笑っている人の方が親しみ  
やすい。だから笑顔って大事だなんて  
思います。皆さんも、笑顔でおもてな  
ししてください。

# Kundo Koyama

## 小山薫堂

1964年6月23日天草市生まれ。  
放送作家として「料理の鉄人」や「THE世界遺  
産」などを手掛ける。その一方で、映画脚本家とし  
ても、初脚本の「おくりびと」が米アカデミー賞外  
国語映画賞を獲得するなど高い評価を受けている

当たり前が幸せ  
だと感じて欲しい

### く

まもとサプライズは、新幹線開  
業で熊本に来た人たちを驚かせ

る(サプライズ)  
企画ではなく、  
熊本の人に「日

常をリセットしてもらおう」ための企画  
です。この企画で、自分の中で、当  
り前だと感じているものでも、県外か  
ら見れば、すごく特別で驚くような価  
値をもったものがあることを知って  
もらうのです。

僕は県外に出て、熊本の良さを実感  
しました。上京して体を洗ったり歯を  
磨いたりするときに水を使いますが、  
そのときに「やっぱり熊本の水はおい  
しいなあ」と感じるんです。熊本では  
このようなことを思ったことがありま  
せん。豊かな地下水  
を毎日気持ちよく使  
うことができる熊本  
県民はなんて幸せな人たちなんだろう  
と思いました。それが「当たり前  
の幸せ」です。

僕は幸せを運ぶ  
天使になりたい

そして、地域の人  
たちの熱き思いが、  
熊本を変えます。

県民の皆さんに、日常生活の中で「当  
り前の幸せ」を見つけていって欲し  
いと思います。皆さんが「当たり前」  
を再認識することがサプライズにな  
り、県外の人への「おもてなし」につ

「くまもとサプライズ」の提案者・小山薫堂さんに「熊本の未  
来」には何が必要なのかを聞いてきました

### 僕

は、生まれ変わるならシャンパ  
ンを作る人になりたいんです。

おめでたいときに、シャンパンで乾杯  
するようないきなり出てきますよね？そ  
んな小さな幸せを演出する人になりた  
いです。例えば、天使みたいに、陰  
に隠れながら、いろんな人生にちょつ  
といたずらをして、人と人を巡り合わ  
せたい。そして幸せになった人たちを  
こっそり見るのがうれしいですね(笑)  
くまもとサプライズでも、僕の役割は、  
皆さんの背中をちょっと押してあげる  
だけだと思っています。それをきっか  
けに、熊本の魅力に気付いた人が動い  
て欲しいですね。

そして、地域の人  
たちの熱き思いが、  
熊本を変えます。

しかし、全員が熱き思いを持つ必要は  
なく、それをみんなが応援していくこ  
とが大切なのです。熊本の人には、変  
えようとしている人を見守り、そして  
応援する人になって欲しい。それが  
熊本の幸せであり、みんなの幸福につ  
ながると思っていますから。

「新幹線開通」をきっかけに「熊  
本の魅力を再発見」してほしいと賛  
同した県内の広報担当者が集まり、  
取材や写真撮影を行い、みんなで言  
葉を選んで作り上げた合同企画で  
す。私たちは、取材に一喜一憂しな  
がら2人の思いを形にしました。そ  
れは、私たちにとってすべてが「サ  
プライズ」でした。

2人が語ってくれた熊本の魅力と  
は、水や自然などの熊本に住む私た  
ちにとって当たり前のものでした。  
しかし、それは日常生活の中に当た  
り前に浸透していて、その価値にな  
かなか気付くことができません。  
「当たり前が幸せ」と小山さん。「熊  
本の当たり前が他県の人から見ると、  
驚くこと」とスザンヌさん。

小山さんは「隣町にも、こんな良  
いところがあるんですよ」って褒め  
あえたら熊本はもつと素晴らしい県  
になる」と話しました。熊本の良さ  
を見つけたら、日本が新幹線であつ  
たがっていくように、自分のことだけ  
でなく、互いに手をつなぐ。たった  
一人の思いや行動が連鎖し、そこに  
共感が生まれる。今回の合同企画  
が、そんなきっかけになればと思い  
ます。

おもてなしには忘れてはならない  
笑顔添えて、熊本にサプライズを  
起こしましょう。